

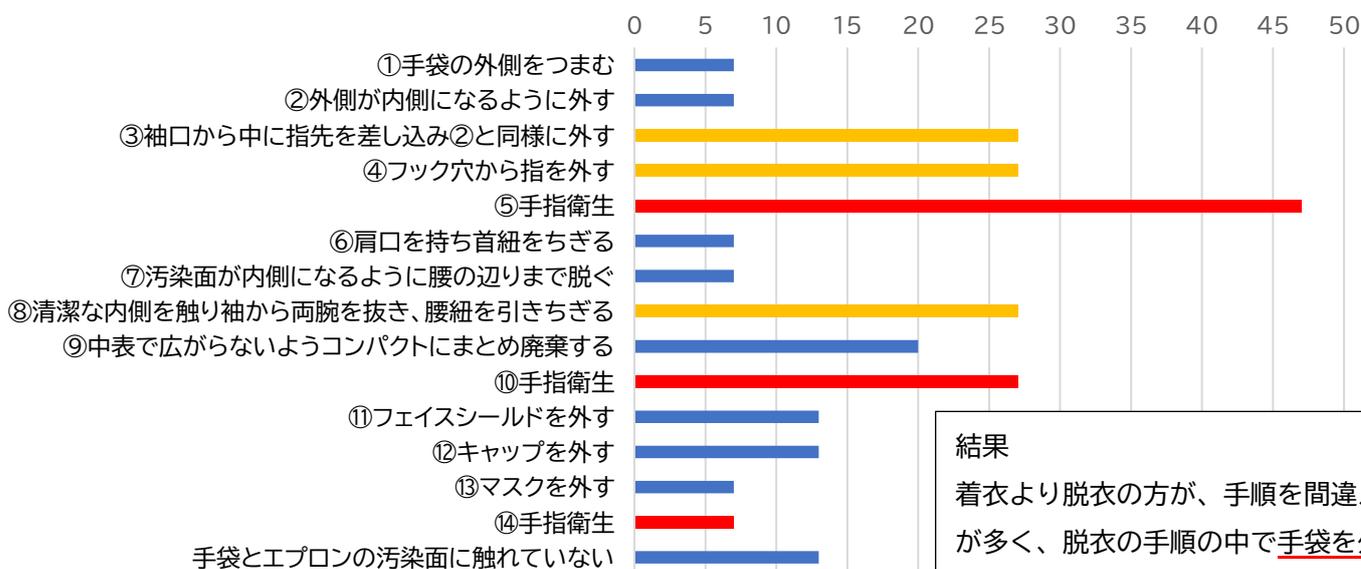
ICT ニュース 2021/8 月号

2021/8/17 発行 ICT/感染管理委員会

職員の皆さんには個人防護具着脱テストに協力いただき、ありがとうございました。
血液、体液、粘膜、創傷皮膚は感染の可能性があるものとして対応することで、感染の発生リスクを減らすことができます。その対策のための防護具ですが、使用方法を間違えると感染を拡大してしまいます。感染リスクを予測して適切な個人防護具を選択する。自分の粘膜や皮膚・環境につかないように正しく脱ぐという手技を是非、身につけていただきたいと思います。



脱衣時に手順を間違えた割合(全体)



結果

着衣より脱衣の方が、手順を間違える割合が多く、脱衣の手順の中で手袋を外した後の手指消毒を忘れる割合が多かった

感染防止のための個人防護具使用場面 (表)

○:必ず使用する △:状況により感染リスクが高くなる際に使用する

処置・ケアの場面	手袋	マスク	エプロン	フェイスシールド
清潔ケア	口腔ケア	○	△	○
	陰部洗浄	○	○	○
	入浴	△	○	○※1
排泄	排泄介助	○	○	○
	オムツ交換 (通常)	○	○	△※2
	下痢患者のオムツ交換	○	○	○
	使用後の尿便器処理	○	○	○
清掃	環境整備	○	○	○
	血液体液での汚染場所の清掃	○	○	○
	リネン交換	△	○	△
	汚染リネンの交換	○	○	○
	吐物処理	○	○	△
処置	吸引処置	○	○	○
	創部処置・ドレーン処置	○	○	○
注射	化学療法剤の準備	○	○	○

※1:この場合は入浴介助用の防水エプロンでよい ※2:陰部洗浄をする場合

【注意すること】

- ① 環境や周囲の人を汚染しないように不要になったら外す
- ② 外す時に汚染している表面に触れない



防護具を付けたままウロウロしないようにしましょう。